

か め に し し ょ う が っ こ う

亀西小学校だより



れ い わ ね ん が つ に ち
令和7年9月18日
か め や ま し り つ か め や ま に し し ょ う が っ こ う
亀山市立亀山西小学校
No. 8 文 責 学 校 長

Comunicado da Escola :: La información de la escuela :: School Newsletter

7月末に令和7年度学力・学習状況調査の結果が発表されました。今年度は、教科の調査に理科も加わり、3教科と児童質問紙調査が行われました。教科の調査は、日常生活の場面を想定した問題が多く、また、学習の基礎の定着を確認できる問題構成となっています。質問調査では、基本的な生活習慣や学校生活などの質問で構成されていました。



学校では、調査の分析を踏まえ、今後も各学年間の系統を図りながら学習指導を行います。生活習慣等については、ご家庭の協力もいただきながら、子どもたちのもてる力を引き出し、これからの社会で活躍できるような力をつけていきたいと思います。

令和7年度の全国学力・学習状況調査の結果（質問紙調査）

子どもたちの学習状況には、子どもたちを取り巻く状況や環境も大きく影響します。三重県では、子どもたちの“自己肯定感”が学習に向かう姿勢や意欲に関係するとして、自己肯定感の向上に注視しています。三重県教育委員会が注目している、質問調査項目についての、三重県や全国、本校との比較です。

※数値は肯定的回答の割合

項 目	本校	三重県	全国
自分にはよいところがある	88.4%	85.1%	86.9%
先生はあなたのよいところを認めてくれている	97.6%	92.5%	92.2%
普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいあるか	95.4%	93.1%	93.0%

本校の児童は、表中3項目において三重県や全国よりも高く、また、自己肯定感の高いことがうかがえます。さらに、学習に関する項目では、「学習した内容のわからないところを、見直し次の学習に繋げる」（90.6%、県+11.4）、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができる」（93.0%、県+11.5）が高く、自分たちで学びをつなげようとする意欲的な姿勢がうかがえます。また、「学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めている」（96.5%、県+15.8）など、なかまを意識しながらよりよくしようという姿勢もうかがえます。

肯定的な回答が県や全国平均より高いものが多かったのですが、「朝食を毎日食べている」（90.7%、県-2.2）、「地域の大人に、授業や放課後などでスポーツ、体験活動にかかわってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある（習い事は除く）」（37.2%、県-3.3）については、やや課題とみられます。

また、本校の肯定的回答の高い項目として「困りごとや不安のある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できるか」（84.8%、県+15.3）がありました。今後も、子どもたちが安心して相談できるような環境づくりや雰囲気づくりを続けていきます。



令和7年度の全国学力・学習状況調査の結果(国語・算数・理科)

本校の平均正答率は、国語66・算数53・理科56で、三重県平均と比較すると、国語・理科で差は見られませんでした。算数については三重県平均より4、全国平均より5低くなっていました。

三重県教育委員会は、教科の調査結果を、

成果:筋道を立てて相手にわかりやすく説明する

課題:基礎的な知識を活用して考える

と分析しています。本校も、おおむね三重県と同様の傾向が見られました。

特に、国語では、「読むこと」に課題が見られました。「読むこと」には、文章

全体の意図や趣旨をつかむことが含まれます。調査の問題でも、各教科の問題の趣旨を読み取ることに関係してきます。

算数や理科では、基礎的な知識を知っているだけでなく、それらを使い、問題の趣旨にそって考えていくことが求められます。以下に、本校の各教科の強みと弱みを示しました。



国語

※強み(○) 改善点(▼)

○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。(問題2三)

▼時間的や事柄の順序を考えながら内容の大体をとらえる。(問題3二(1))

▼事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成をとらえて要旨を把握する。(問題3二(2))

算数

○目的に応じた適切なグラフを選択して増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述する。(問題1(2))

▼台形の意味や性質について、理解している。(問題2(2))

▼「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことができる。(問題4(4))

理科

○電磁石の強さは巻き数によってかわることの知識が身についている。(問題2(3))

▼乾電池のつなぎ方で、直列つなぎに関する知識が身についている。(問題2(4))

▼種子の発芽条件の差異や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現する。(問題3(3))

※問題別の強みと改善点の最後の()内の問題番号は、学力学習状況調査問題の番号です。問題は、この QR コードからご覧いただけます。



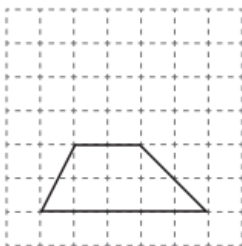
取り組み
ます！

- じゅぎょう がくしゅうようご つか てきせつ ことば せつめい かんがえ
○授業で学習用語を使いながら適切な言葉で説明したり、なかまの考えをし
きい たり ことば たいせつ がくしゅう じかん もう
っかり聴いたりするなど、言葉を大切に学習の時間を設ける。
ことば いみ ぶんしょう ただしくりかい こくごじてんとう かつよう
○言葉の意味や文章を正しく理解させるようにする。(国語辞典等を活用)
しんたんげん はいるさい かんれん きしゅうないよう もんだい と く
○新単元に入る際に、関連する既習内容の問題に取り組ませる。

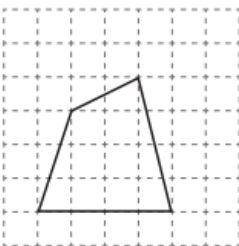
れいわ ねんど がくりよくがくしゅうじょうきょうちょうさ もんだい
令和7年度 学力学習状況調査 問題より

- (2) わかなさんは、方眼紙に下の 1 から 5 までの四角形をかきました。
下の 1 から 5 までの中で、台形はどれですか。
3つ選んで、その番号を書きましょう。

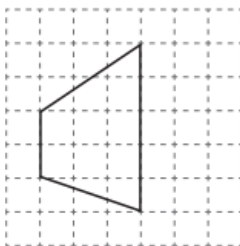
1



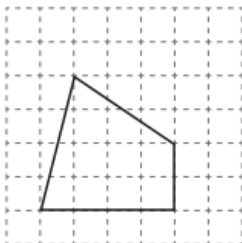
2



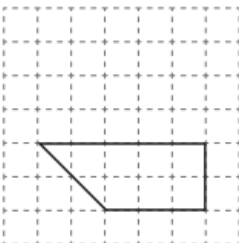
3



4



5



ほんこう かだい
本校で課題となっ
ている問題の1つ
です。

がくしゅう 6ねんせい つみかさね たいせつ まいにち こつ こつ がくしゅう つみかさね しゅうかん
学習は6年生までの積み重ねが大切です。また、毎日コツコツと学習を積み重ねる習慣もとても
たいせつ がくしゅうじかん すく ぜんこくてき かだい こども
大切です。学習時間が少ないことは、全国的にも課題となっています。すべての子どもたちに
あてはまる おも がくしゅうじかん おお
当てはまることではないと思いますが、学習時間が多ければよいというものでもないとは思いますが、
てきせつ じかん けいぞく とりくむ こども ちゃくじつ ちから つ じ ここうてい かん たか
適切な時間、継続して取り組むことは子どもたちに着実に力を付けます。自己肯定感が高く、なかま
とりくむ おしせい ほんこうじどう よさ い こんご じゅぎょうかいぜん とりくんで
とともに取り組む姿勢のある本校児童の良さを生かしながら、今後も授業改善に取り組んでまいりま
す。ご家庭では、家庭学習の充実のため、お子様へのお声がけ、見守りをお願いします。

みえけん きょういくいんかい ちらし いっしょ おとど おもてめん れいわ6ねんど けっか
三重県教育委員会のチラシを一緒にお届けします。チラシの表面は令和6年度の結果となってお
りませんが、裏面の“学習習慣等を身に付けるために”をご一読いただき、お子様の育成のため、ともに
とりくんで きょうりよく おねが
取り組んでいただくようご協力をよろしくをお願いします。